

NAKATSUGAWACENTER ROTARYCLUB WEEKLY REPORT



2024-25 クラブテーマ

Enjoy Rotary ~新しい歴史を刻む~



中津川センターロータークラブ / 会長：小木曾輝栄 / 幹事：河村良博 / 会報：辻村俊介 / 例会：月曜日 12：45～13：30 例会場：パルティール AI
事務所：中津川市かやの木町 1-20 中津川商工会議所 3F / TEL0573-66-7301 URL: <http://nakatugawa.info/ncrc1975/>

本日のプログラム

パルティール AI 12：15 昼食 12：45 点鐘
例会前：定例理事会

1. 開会点鐘
2. R ソング「我等の生業」斉唱
3. ゲスト・ビジターの紹介
4. 会長の時間
5. 出席報告
6. スマイルボックス発表
7. 委員会/幹事報告
8. 卓話の時間 赤座薫パスト会長
「中津川市の医療介護」
9. 閉会点鐘

今後の例会スケジュール (通常例会：パルティール AI 昼食 12：15 点鐘 12：45)

2月24日(月) 法定休日

3月3日(月) 【ガバナー補佐訪問 3RC 合同例会】 ホスト：センターRC
パルティールプラス 例会 18：00 点鐘 懇親会 19：00
送迎バス：中津川駅 17：30 発 ～ 商工会議所 17：35 発

3月8日(土) 【創立 50 周年記念 サクラ植樹式】中津川公園 10：00

3月8日(土) 【創立 50 周年記念式典・祝賀会】パルティールプラス

式典 16：00 祝賀会 17：15 二次会 19：15

送迎バス中津川駅 15：10 発 ～ 商工会議所前 15：20 発

3月10日(月) 8日(土)へ移動 休会

3月17日(月) 祝日週のため休会

第 3 回 IDM 報告 2月5日(水) 18：30 アニーホール

担当：組織強化情報常任委員会 (会員増強・会報雑誌・R 情報)

議題：「交換留学・米山奨学生の在り方」

～前回例会の卓話後の感想と思ひ～

- ・通っている高校の推薦枠で、3 週間イギリスに留学した。最初は苦労したが次第に友達もでき、視野・視点も変わっていった。服部さんの 1 年は内容も濃く素晴らしいと思った。
- ・子供が短期でカナダ・ニュージーランドの留学、RC の留学は普段体験出来ないような事もプログラムに含まれていて、対象の子供に話を聞かせたらうらやましいと思うのではないかと思った。
- ・学校等でも留学体験は行われているが、RC の留学は費用的な事や、受け入れ体制、ホストファミリーについても充実している。
- ・外国人が日本に観光・ワークで来る時代なので、将来留学が生かされると思いました。
- ・留学生をホストファミリーとして招いたことがあるが、文化の違いを学ぶ事が出来るとともに、日本の良いところを伝え、広げてもらうキッカケにもなる。
- ・JC 時代にタイの子供たちと交換留学事業を行った。このような事業に携わる経験は大人・子どもにかかわらず推進していくべきと思う。
- ・奨学生を CRC で招いたときは、2 か月事にメンバーの家に泊まっていただき、中津商業に 1 年間通った。その他、観光や BBQ 等思い出作りもメンバーで共有した。
- ・CRC では 30 年間奨学生を輩出していない、誰かが背中を押しキッカケを作ることが大切では。
- ・奨学生としての留学費用は、飛行機代、一年間の生活費、小遣いが必要、30 年前で約 50 万程度、学校の授業料は奨学金にて捻出していただける。(10 か月経過しないと家族は本人に会いにくい)。6 か月を過ぎると日常会話が話せるようになってくる。 ※本日参加した方は参加していないメンバーの皆様にご内容を伝えていただければ幸いです。

<出席者：服部繭子さん 小木曾輝栄 勝野正彦 岡庭勢史 河村良博 伊藤 雄 二村国彦 梅村幸司 西尾元男 内田充彦>

その他・地区・クラブ行事

- ・3月11日(火)「ゴルフ同好会コンペ」ユーグリーン中津川ゴルフ倶楽部 8：30 スタート ◆ 打ち上げ：更科 18：00
- ・3月30日(日)「会長エレクト研修セミナー(PETS)」名鉄グランドホテル 10：30 出席：丹羽会長エレクト
- ・4月5日(土)「四クラブ親睦ゴルフコンペ」ホスト：センターRC ひるかわゴルフ場 9：45 東-中 中-西 西-東 同時スタート

東濃グループ例会変更案内

中津川：2/27(木)→3/2(日)移動 恵那：2/18(火)→2/23(日)移動・2/25(火)休会

瑞浪：2/28(金)休会 土岐：2/24(月)休会 多治見西：2/27(木)夜間例会 多治見リバーサイド：2/25(火)移動例会

会長の時間 小木曾 輝栄 会長

みなさん、こんにちは。

今日は親睦について話します。

親睦を目的として出発したロータリーも、長く真摯な論議を重ねながら、大きな変貌をとげてきました。その結果、現在のロータリーの定款や細則の中から親睦の文字を見つけだすことは難しく、僅かに親睦活動委員会の項目にその痕跡を止めているに過ぎません。

ロータリーの二本の柱として、ロータリアンのほとんどは親睦と奉仕をあげますし、新しいロータリー年度が始まって、新会長の挨拶にも親睦と奉仕という言葉が述べられます。親睦と奉仕がロータリーライフを支える二本の大きな柱であることは疑いのない事実です。

親睦が失われればクラブは崩壊するだろうし、奉仕がロータリー運動の大きな目的であることも疑いのない事実です。

ロータリーはあえて親睦と奉仕の解釈を、世間一般の人たちが考える解釈と異なる次元に置いています。ロータリーが定義する親睦と奉仕は、いかなる辞書を引いても正しい解釈が活字化されていないロータリー独自の概念であり、さらに、それを正しく理解しない限り、ロータリー思想の原理を語ることができないのです。

“Fellowship”を「親睦」と訳したことに問題があるのかもしれませんが、むしろ「連帯感」とか「協調」と訳す方が理解しやすいでしょう。

「親睦」とはロータリークラブが、クラブとして存続していく上で欠かすことの出来ない必要条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念なのです。いいかえれば、“Fellowship”はロータリーの引力とも言えます。

ロータリークラブの会員の中にも、親睦と親睦活動を混同する人も多いです。親睦会やゴルフ会に参加することは親睦活動に参加することであって、親睦とは違う次元のものです。

親睦活動がクラブ奉仕の充分条件の範囲内で、親睦というロータリー本来の運動を高めるために補助的に活動することは大切なことです。しかし、親睦活動委員の任務を、親睦会の幹事や同好会の世話役に留めることは大きな誤りです。確かに会員が心を打ち解けあう手段の一つとして、親睦会やクラブ活動などのレクリエーションも必要です。しかし、親睦を深める最適の場所は、毎週一回の定例の例会であることを忘れてはいけません。例会において、いかに友情を深めるかを考え実行すること、いかにして真の親睦が保たれるような環境を整備することが最大の任務なのです。

ほとんどのクラブでは、新入会員は親睦活動委員会に配属されますが、これは新人だから下働きにしようということではなく、親睦活動委員として毎例会、会員相互の親睦を深める活動に従事することによって、一日でも早く先輩会員と融和を図ることを期待しているからなのです。友情溢れる例会を通じて、ロータリアンがお互いに切磋琢磨し自己改善に努めることで、ロータリーの説く親睦が一層深まり、奉仕の心が高まってきます。

今日はここまでといたします。



会長の時間：小木曾会長



卓話：丸山国際奉仕委員長



会員慶事：内田君



出席報告：成木委員長



スマイル発表：林君



スマイルボックス

申告 20P 累計 497P

- ・本日は丸山国際委員長による、新莊扶輪社との交流についての卓話です。若いメンバーに新莊 RC との歴史を伝えて頂ければと思います。よろしくお願ひします。 会長 小木曾輝栄 副会長 垂尾孝也 幹事 河村良博
- ・誕生日を祝って頂きまして有難うございます。 勝野正彦 塩谷浩二
- ・妻の誕生日を祝って頂きまして有難うございます。 古川和博 板頭和彦
- ・夫の誕生日を祝って頂きまして有難うございます。 横井美紀
- ・結婚記念日を祝って頂き有難うございます。 鷹見幸久 丸山充信 荒井幹広 山本文幸
- ・議会便りができました。ご一読下さい。 鷹見憲三

2月3日例会卓話「新莊扶輪社との交流」丸山充信 国際奉仕委員長



最初に 50 周年記念式典に来訪する、新莊扶輪社について報告させていただきます。
今回新莊クラブからみえる会員メンバー・日程等は今日のウイークリー 1 ページ目をご参照ください。

今回の来訪はセンタークラブの 50 周年記念式典に参加するためだけに来訪します。以前はどこかを大勢の家族子供達と観光したり、新莊と姉妹提携を結んでいる下田ロータリークラブを訪問したりして中津川へ来ていました。

以前の新莊クラブの窓口はフランクさんとかレースさんが対応していましたが故人となられ、10 年ぐらい前からはウオーターさんが対応していましたが残念ながら昨年 11 月に諸般の事情でロータリークラブを退会しましたので、現在は国際奉仕委員会担当の I - P i n g さんとやりとりをしていますが、日本語が達者でないので、ラインとか電話でやりとりをパソコンの Google 翻訳を利用して行っています。

台湾は 1 月 25 日から 2 月 2 日までが旧正月休暇で協議が中断していましたが、今日 2 月 3 日からまた打ち合わせを行います。ちなみに中国大陸の旧正月は 1 月 28 日から 2 月 4 日、韓国では 1 月 25 日から 30 日までと、それぞれの国によってばらつきがあります。正月元旦は 1 月 29 日で 2026 年は 2 月 17 日となっています。旧暦では一年は 354 日となっていますので、毎年旧正月の日にちが変わってきます。

今日はせっかくの機会ですので新莊扶輪社との姉妹提携に至る経緯を改めて説明させていただきます。終戦後から 1950 年代（昭和 30 年代）にかけて台湾から日本への渡航は大変厳しい時代がありました。一般の人たちは日本訪問などは、ロータリークラブなどの団体での交流を行うことで可能な時代がありました。

こうした背景の中、1961 年（昭和 36 年）当時の中津川商工会議所会頭であった三菱電機中津川製作所所長の鴨川さんのお骨折りなどがあり中津川クラブが台湾との交流が始まったと聞き及んでいます。

1. 1969 年（昭和 44 年）中津川クラブが台北三重（サンチョン）クラブと姉妹提携し当クラブも友情クラブとして交流を行っていました。

2. その後三重 R C・中津クラブ・中クラブ（中クラブ創立 30 周年にセンタークラブへ変更）と共同で会員が訪台を行い、また先方からの訪日があるなど交流が深まっていました。

3. 1977 年（昭和 52 年）5 月 10 日、中クラブは三重クラブの紹介で、新莊 R C と姉妹提携調印を台湾で行いました。

4. 翌 1978 年（昭和 53 年）5 月 10 日、当時苗木城下にあった名鉄中津川ホテルにおいて姉妹提携継続調印式を行いました。当時の取り決めは“歓迎は、質素に 交流は盛大に”

5. 当時の新莊クラブとの合同事業・交流を見てもみると、輔仁大学（ほじんだいがく）（クリスチャン系で私学）との交流・ホームステイ、会員子息との交流、小学生の絵画展などが行われ、親善が活発に行われていました。

6. 話は飛びますが 1995 年（平成 7 年）2 月には中クラブ現センタークラブの創立 20 周年が行われ、事業としては、台湾の身障者施設への器具贈呈、中津川市へは身障者用ライトバンの贈呈、台湾の大学生の日本語による論文大会を行い 3 名の学生を日本へ招待を行うなど、新莊クラブとの交流を深めていました。ちなみに、いわゆる中クラブの記念事業としては、駅前トイレの設置協力として 750 万円贈呈、前田青邨 100 周年記念に金一封贈呈（すでに今から 30 年前にこのような動きがありましたので今後の美術館構想の発展が待たれます）、今年 30 年目経過した 1995 年（平成 7 年）1 月 17 日に発生した阪神大震災の義援金寄付として 220 万円新莊クラブからの善意も含めて 220 万円行ったと記録されています。

参考までに 2011 年（平成 23 年）の東日本大震災では新莊クラブからは 40 万円の義援金をいただいています。その後の 30 周年、40 周年については別の機会にお話しできればと思います。

私と台湾の関わりは、中津川クラブが三重クラブとの姉妹提携が1969年（昭和44年）に行われ、翌年の1970年（昭和45年）2月に中津川クラブの会員子息学生の訪台が計画されました。当時、私は1966年（昭和41年）から1968年（昭和43年）まで3年間にわたるアメリカでの留学をから帰国したことの経験により、4名の会員子息を率いる訪問団団長として訪台を6日間行いました。宿泊はそれぞれのクラブ会員の家庭でのホームステイでした。私は温さんと言う内科のお医者さんのお宅でホームステイしました。その時の訪台メンバーは藤井さん（西宮町のお米屋さん彼は後に岐阜県庁へ入庁し最後は危機管理監で部長級）石田忠行さん（元J C石田詔三理事長の父親）、吉村さん（恵那金属創業者2代目、元商工会議所会頭の子息）で全くの珍道中でした。この珍道中の話は別途酒の席での話になりますがコンプライアンスの問題もありますのでご容赦願います。

私のロータリークラブ入会は1993年（平成5年）であり、当時例会会場は勝宗さんでした。その時の会員数は90名近くに上り、入会したばかりの新会員の最初の仕事は「お茶くみ」でした。出席会員の席にお茶を配るとか、大変な労力を要しました。その後例会会場は「高砂殿」にかわり、予算的なこともあって商工会議所の3F会議室へと移り、現在はパルティールへ落ち着いたところ です。

先の1月27日行われた例会での小木曾会長の「会長の時間」でこれから例会のあり方を考えなければと問題提起されていますので今後検討することも必要かと思 います。

私が入会三年目の1998年（平成10年）3月27日に新莊クラブの20周年記念式典が台北で行われ、初めて台湾のロータリークラブの例会式典に参加しました。当時私は台湾へは木材の仕事があり、2ヶ月に一度は台湾へ渡航していましたが、ロータリークラブとしては初めてでした。

木材の仕事というのは台湾の製材業者がカナダ現地の華僑などを利用してカナダ、バンクーバーから木材の原木を輸入して、台湾の東海岸にあるラトウ（イーラン市、花蓮より北）の製材工場 で製材し日本へ輸入するという仕事です。神社仏閣向け用材ですが、もちろん希少になった今では伐採禁止の台湾ヒノキの輸入という仕事もありました。

新莊クラブ20周年記念式典会場へ行きましたら「特別代表温（サージ）」とありびっくりしました。というのは私が中津川クラブ訪台した時のホームステイ先であり、30年ぶりの対面でした。＊特別代表とは「新規クラブ創設には必ずスポンサークラブから特別代表を出して会がうまく運営されるように指導・アドバイスを行う」このような思い出がありその後新莊クラブの30年、40年それぞれの式典に参加してきています。

今台湾は中国共産党の台湾侵攻など不穏な動きが心配されますが、民間での交流はもっとも行うことが歯止めになるかと思 います。

国の方では超党派の日華議員懇談会会長を古屋圭司衆議院議員が務めていて、彼はことあるごとに台湾を訪問し、台湾の大統領に当たる「総統」とは常に携帯で連絡をとっています。

改めて今回の新莊クラブ訪問団の日程を再度確認させていただきます。

7日の到着後はお昼ご飯を近くのうなぎ屋さんで食べ、中津川お宿「Onn」へチェックインします。

その後18時から歓迎会を「勝宗さん」で行います。この会の出席者は昨年4月に訪台した会員と、あと国際奉仕委員会の奉仕プロジェクト常任委員会メンバーに声をかけますが、それ以外に交流を深めたいと言うメンバーはどしどし参加をお願いします。

8日は植樹式、式典、懇親会その後の二次会などです。

9日午前お宿「Onn」チェックアウトして高山へ行き、翌10日に名古屋へ向かい11日のフライトで帰国というスケジュールになっています。11日は場合によっては名古屋でさよならパーティーをとまかんがえています。以上会員のご理解とご協力をお願いします。

